

ロータリークラブ ライオンズクラブ

名古屋東山ロータリークラブ (RC、小林三重子会長) はこのほど、日進市の愛知池バタフライガーデンで、「アサギマダラ観察会とエコウォーク」を開催した。同RCの地区補助金事業として、ボランティア団体「愛知池友の会」(飯塚満智子代表) による、渡りチョウのアサギマダラ保護活動を支援するとともに、チョウの観察会や清掃を兼ねたウォーキングなどを行った。(吉川英司)

名古屋東山RC



愛知池友の会の飯塚代表(中)と名古屋東山RCの小林会長(左)、浅井貴介幹事(右)

愛知池で「アサギマダラ観察会」

地区補助金を活用 保護活動サポート

紙芝居で 生態説明

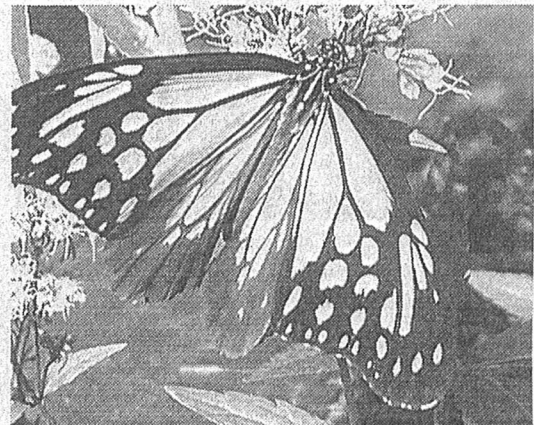
清掃ウォーキングも



池の周辺を清掃



ハワイアンダンスを披露



フジバカマにとまるアサギマダラ

愛知池友の会は、池周辺の住民ボランティア団体。池の環境保護のほか、毎年10月ごろに池に飛来する渡りチョウ、アサギマダラの保護活動として、繁殖記録やチョウが好むフジバカマの栽培、観察会などを行っている。同会と名古屋東山RCとの関係は、同RCが2006年の創立10周年記念で池周辺に植樹した桜の木に対し、同会が自主的に手入れしていたことがきっかけ。同RCが同会をロータリー地域社会共同隊(RCC)に位置付けて、協力関係を築いている。



チョウの生態を紙芝居で説明

今回は、その関係が15年を迎えたことから、国際ロータリー第2760地区(愛知地区)に、本年度の地区補助金事業として保護活動の支援を申請する。

このほど開催された観察会で、テントやいす、人工芝、栽培用の耕運機、さらにチョウの生態をわかりやすく説明する紙芝居などを同RCが用意して事業を成功させた。愛知池友の会は今後の活動

に、本年度の地区補助金事業として保護活動の支援を申請する。友の会の飯塚代表は「バタフライガーデンを子どもたちがチョウや自然を学べる場所にしたい」と支援に感謝。完成した絵本の披露や、地域のハワイアンダンスサークルによるパフォーマンスで謝意を表した。

その後、同RCや友の会など24人の参加者全員が、池周辺の自然観察と清掃を兼ねたウォーキング「エコウォーク」を行った。

同RCの小林会長は「愛知池の水は知多半島の飲み水なので、桜の手入れは薬品を使わず手作業でやっていたにしている。地区補助金事業として、その恩返しをさせていただけた」と話した。

NEWS&TOPICS

- ROTARY CLUB
- LIONS CLUB
- JUNIOR CHAMBER
- KIWANIS CLUB

【毎週水・金曜日に掲載】